



第1章

【be動詞 解答】

【Part1 be動詞の現在形の肯定文・疑問文・否定文の用法】

- 1 **I**のとき、be動詞は**am**を使う。
- 2 **you**のとき、be動詞は**are**を使う。
- 3 **I, you**以外が主語のとき、be動詞は**is**を使う。
- 4 主語が**複数**(children:子供たち)のとき、be動詞は**are**を使う。
- 5 主語が**複数**(We:わたしたち)のとき、be動詞は**are**を使う。
- 6 1を参照。
- 7 主語が**複数**(Emi and Shin:エミとシン)のとき、be動詞は**are**を使う。
- 8 **疑問文**のときは、**be動詞 + 主語**の順番になる。
- 9 一般動詞がないので、be動詞を入れることを考える。主語が**you**ときはbe動詞は**are**となる。
- 10 **否定文**のときは**be動詞**の後に**not**をつける。
- 11 10を参照。
- 12 **There is** (～があります)という意味になり、**a** (ひとつの、一人の)が**単数**なので、**is**が答え。
- 13 **There are** (～があります)という意味になり、**some** (いくつかの)が**複数**となるので、**are**が答え。

【Part2 be動詞の過去形】

- 1 **am**の**過去形was**である。また**last year** (昨年)という意味なので、**過去形**となる。
- 2 **Is**の**過去形was**である。また**last night** (昨夜)という意味なので、**過去形**となる。
- 3 **are**の**過去形were**である。また**yesterday** (昨日)という意味なので、**過去形**となる。
- 4 3を参照。
- 5 **Many people** (たくさんの人々)が**複数**で、**last Sunday** (先週の日曜日)より、**are**の過去形**were**が答え。
- 6 **seven boys** (7人の男の子)が**複数**で、**yesterday** (昨日)より、**are**の過去形**were**が答え。
- 7 **a** が**単数**と**yesterday** (昨日)が過去形より**is**の過去形**was**が答え。

まとめ💡

	現在形	過去形
I	am	was
you	are	were
I, you以外 (単数)	is	was
I, you以外 (複数)	are	were

be動詞の肯定文 主語 + be動詞
 疑問文 be動詞 + 主語
 否定文 主語 + be動詞 + not

～があります	
単数	there is
複数	there are



Part1 1 ア 2 ウ 3 ウ 4 ウ 5 イ 6 am 7 are 8 Is Hideki busy? 9 ウ 10 He is not a doctor.
 11 ウ 12 is 13 イ Part2 1 was 2 was 3 were 4 イ 5 were 6 were 7 was

